2013年度「研究部会活動記録」

部会主任名	須賀晃一	現代政治経済研究所
研究課題 ：公共性の総合的規範理論の構築をめざして：経済学、政治学、法学の協同		
月/日	活 動 記 録	
3月3日	<p>政治経済学会第5回研究大会・総会にて共通論題を組織 14:15～16:15</p> <p><共通論題：カント的不偏性を考える> 11号館501号室 司会：谷澤 正嗣（早稲田大学）</p> <p>隠岐 理貴（早稲田大学）「いつ不偏的に考えはじめるのか — カントの政治哲学を手がかりに」 若松 良樹（学習院大学）「順番が大事 — 将来世代に対するカント的義務」 須賀 晃一（早稲田大学）「カント的行動原理の可能性 — 社会選択論の立場から」（仮題）</p> <p>討論：山岡 龍一（放送大学） 瀧川 裕英（立教大学）</p>	
来年度の活動計画	2014年度もまた、政治経済学会でのセッションを編成して共同研究の成果を報告することにした。2013年度には開催できなかった研究会も定期的に行うことができるよう、計画を作成中である。	
終了の場合	研究成果刊行の時期： 年 月（予定） 研究成果の公開方法：	